



“MACS” (Medical Architecture Consulting System)

川田工業(株)建築事業部

1. まえがき

最近の医療の進歩には、驚ろくべきものがある。その中でも特に、エレクトロニクス分野での技術革新による医療設備の充実ぶりは、医療関係者は勿論、建築設計者および、設備設計者に、医療機能と設備への新しい対応の仕方を迫っている。このような状況の中でも、公的医療機関の充実には比較的遅れており、医院など私的医療機関への負担が高まっていることは、余りにも歴然としている。地域社会に密着して存在している医院のもつ社会的役割を重要な課題としてとりあげ、一貫したトータル・サービス“MACS”のもとに、医療建築の役割、性格に添い、施設としての機能を全うしうる建築こそ 当事業部の進むべき道と考える。

2. “MACS” とは・・・

“MACS”とは、医療建築の総合コンサルタント業務を総称し、基礎調査、企画・立案、資金計画、設計・監理、建築、メンテナンス、増改築などのトータル・サービス業務を内容とする。その中でも“モジュール”化をともなった“カスタムメイド”にその特色が発揮されるシステムである。

“モジュール”と“カスタムメイド”

“モジュール”とは、建物の寸法、プロポーション、

構造などの調整に用いる基準単位である。医療施設には、特殊なものを除くと 共通なスペースが考えられるが、これらの諸室を あらゆる角度より検討し、機能的なスペースとして与条件を満足しうる最小限の諸室を用意すれば、有機的な空間処理をスピーディーに行いうる。このような所要諸室を あらかじめ作成しておくことを“モジュール”化といい、表に示すように、基本モジュールタイプとして、10種類のパターンと、診療、病室、管理、サービス・住宅各部諸室の効果的組み合わせにより、それぞれのパターンの選定を行っている。その一例として診療室モジュールを図に示す。このように、寸法上の秩序を与えられた各室に、諸設備、機器、備品などの標準化、統一化の機能をもたせながら、平面計画の簡易化を計り、医師の希望、アイデアが最大限に満される“カスタムメイド”を採用したことも 特色の一つである。

3. あとがき

従来、基本プラン決定、特に、スペース処理に、日時の大半を費やしていたが、モジュールの採用にともない、そのすべてを 動線処理などの機能的な分野の検討に充当し、多様な要求の解決を計るべきであろう。

システムの特徴として、下記のものが考えられる。

1. 平面計画の簡易化。
2. 規格化にともなう品質の均一化。
3. 標準化による建築コストの低減。
4. 標準化による工程の短縮。

将来の環境の変化の予測を加味し、医師側の多様な要求に対して、設計者側の計画上の手法を 可能な限り包含し、ニーズに合った合理的な医院が、今後数多く計画されることを望んでやまない。

表 基本モジュールタイプ

X方向 Y方向	3.0 m	4.0 m	5.0 m	6.0 m	8.0 m
4.5 m	453型	454型	455型	456型	458型
5.0 m	503型	504型	505型	506型	508型



図 診療室モジュール